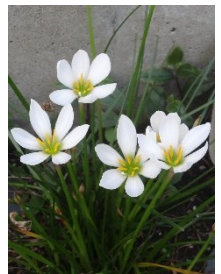




2022年11月  
第731号

日本基督教団 平塚教会  
発行人 平塚教会  
編集人 中山洋司  
〒254-0045 平塚市見附町6-18  
電話 〇四六三(32)八八三一



# キリスト者の自由

平塚教会牧師 北川一明

神の御前では隠れた被造物は一つもなく、全ての物が神の目には裸でありさらけ出されているのです。

(ヘブライ四・13)

利得、保身、メンツなどは誰にとっても大事です。それでいて同時に誰でも心の奥には高潔な志を宿しています。両面があることを神はご存知です。だから私たちは自分を飾る必要はなく自由なのです。

私に対する父の情操教育は人文主義でした。「神はいない」という大前提のもとで真・善・美を追い求めさせようというものです。聖書も神の知恵ではなく人間の叡智として紹介されました。

大学で初めて宗教としてのキリスト教と出会いました。現実逃避に見えて良い印象は受けませんでした。それでも学校の薦めに従って幾つかの教会に行ってみました。

ある教会で衝撃を受けました。「クリスチャンは、ここまで自由なのか」と感激しました。その時からキリスト教信仰に対する憧れが始まりました。

その教会の週報には「先週の献金者」として教会員の氏名と金額が公開されていました。さらに、礼拝中に席上献金を集めるのはザルの上にお金を出す方式でした。

「金額は自由」とアナウンスされていますが、他の人が幾ら献金しているのかがひと目で分かります。俗な言いかたをすれば、隣の人がケチかどうか分かるのです。

私が献げるタイミングになりました。一瞬、逡巡しました。「俺は信者でないから神に対してもこの教会に対しても何の責任もない。教会側が自由と言っているのだから金を払う必要は無い」と思いながら、けれども周りの人から金に意地汚いと思われるのが悔しい気がしました。

「相場を出して遣り過ごそうか」と迷ったのです。

しかし「ここは神の宮だ」という思いが良心をよぎりました。仮に神がいるのなら「相場を出して誤魔化そう」なんて神に対して失礼です。だいたい他人の目を気にして払いたくない金を払うなんて自分に対しても恥ずかしいと思えました。

思い切って「ケチだと思いたければ思え、俺は信じて

## 目次

キリスト者の自由 牧師 北川一明	…1
何の競技かな？	…3
主日礼拝 一步一步、コロナ以前へ	…3

【教会ニュース】	
大人のための音楽教室 I	…4
編集後祈	…4

いるわけではない」と態度表明することにし、小銭を投げ入れました。ちよつとドキドキしつつも晴れやかな気持ちになりました。

その後で先ほどの週報を詳しく見ました。「感謝献金」として高額が献げられていましたが、それには驚きません。三百デナリ分の香油を献げた女が「この人が多くの罪を赦されたことは私に示した愛の大きさで分かる（ルカ七47）」とイエスに言われたことを知っていたからです。

月定献金で目を見張るような金額があることには「毎月献げているのか」と驚きました。その人は「金に縛られない自由を得ている」と感じてうらやましくなりました。

その一方で、学生の私から見ても「大人として、これで良いの？」と思うような少額の人もありました。でも堂々と名前を載せています。「今は生活が苦しい」とか「まとまった金額が必要な事情がある」とかという言い訳は書いてありません。この人たちも「人からどう思われるか」ということから自由で、ただ神と自分との関係で誠実に献げていると思えました。それもうらやましくなりました。

キリスト者は自ら神に従う決意したのです。全てをオープンにしながら人との比較は慎むことが出来れば理想的です。

もつとも、その教会が地上の理想郷とは限りません。現実の地上の教会は、罪深い人間たちによって運営されています。献金は、信徒本人と神さまとの関係ですが、金額が公開されていると人と比較してしまいます。高額献金者が教会内で威張っているかもしれない。逆に少額献金者が妬みから高額献金者を中傷しているかもしれません。

それでもその教会の献金に対する態度から私はキリスト者の自由を知りました。信仰に憧れましたが、いかんせん「神はいない」と信じ込んでいます。すぐには受洗できませんでした。でもあの時「ケチと書いたければ思え」という覚悟をせずに相場を出して誤魔化していたら、キリスト者の自由を知るのにならずと手間を要していたでしょう。

平塚教会は金額を公開していません。ただし金額を公開するのは難しいでしょう。それぞれの教会にはそれぞれ培ってきた文化があります。文化にさからって拙速

に事を進めてもマイナスの方が大きくなる場合があります。今の時代、金額を公開しては人を受洗に導くのが難しくなるかもしれません。お金からも、人と比較することからも自由になれば嬉しいはずですが、人は大きすぎる自由からは逃げ出すたくなるものです。

「公開されたら恥ずかしい」という思いは抱くほうが普通です。信仰的とは言えないとしても、それが私たちの現実です。冒頭の聖句にある通り、そんな私たちの思いは神さまには全部バレています。聖書には「キリストは私たちの弱さに同情できない方ではない（ヘブライ四15）」ともある通り、神は私たちの現実を知った上で、なお赦しておられるのです。

自分の格好悪い不信仰を、他人に隠すことはたいした問題ではありません。格好悪い自分を自分で誤魔化して、自分自身を欺くことだけはやめましょう。人前では体裁を取りつくりとうとしても、心の中では自身の罪をきちんと認めましょう。自分を欺くと、キリスト者の自由を自ら手放すこととなります。

10月8日、二葉幼稚園運動会が行われました。さて二枚の  
写真は、何の競技でしょうか？（答えは次頁）

# 何 の競技かな？



その①



その②

## 主日礼拝 一歩一歩、コロナ以前へ

「・・・三年振りに、献金のお祈りを捧げることができ、嬉しく思います・・・」

10月2日主日礼拝、皆様の献金を代表して捧げたH姉の感謝の祈りが会堂に響きました。本日から、教会員の皆さんによる感謝祈禱が復活しました。

平塚教会では、コロナウイルスの感染拡大が始まって以来約三年間、教会員の皆さんを感染から防ぐために、礼拝当番の役目を取りやめ、前もって献金箱に捧げられた献金を、当番役員が主に捧げ、感謝祈禱をしてきました。

九月役員会では、コロナウイルス感染者数が減少してきたことから、感染対策には十分に配慮し、感染状況を見極めながら、教会活動を少しずつ以前に戻して行く事になりました。そのいくつかを紹介しましょう。

### その一 親子礼拝

庄司幸夫教会学校校長より「本日（10月2日）は、主の祈りと賛美歌を声を出して

行いました。」

との報告が、主日礼拝後にありました。およそ三年振りですが、子どもと大人達の賛美と祈りが一つになって、天の神様まで届いたことでしょう。

### その二 礼拝当番復活

9月18日より、会員の皆さんに礼拝当番をしていただくこととしました。当番の方の仕事は、一階受付で役員と共に、来会者の検温と受付（一名の役員と行う）業務、献金当番と感謝祈禱をしていただくこととしました。

受付開始は、10時。準備等もありますので少々早めに教会にお出かけください。

なお礼拝当番担当者には、事前に礼拝役員より依頼があります。お引き受けのほどを宜しく願います。

### その三 礼拝堂座席は一人おきに

10月9日より、二階礼拝堂の座席制限を緩和し、一人置きに総計47座席となりました。座席は十分にありますので、受け付け後二階にお進みいただき、シールの貼ってある箇所にお座りください。なお、一階集会室でテレビ放映による礼拝席を用意しており

しましたが、撤去することになりました。

なお、今後のコロナ感染状況によっては、礼拝堂での座席数は変化することもございますのでご承知おきください。

#### その四 「讃美歌練習をいたします」

10月2日礼拝終了後

「来週歌う讃美歌の練習をこれからいたします。お残り下さい。」

と、日下部明美役員の一声。

9月18日より、主の祈り・使徒信条・讃美歌を皆さんと共も声を出して告白し、賛美しておりますが、長い間声を出しておりませんでしたので、なんとなく弱弱しい感じがいたしました。



金慕郷姉の伴奏と日下部明美役員の指揮の元、次週歌う讃美歌の練習が始まりました。歌い始めはなかなか声も出てきませんでしたが、何度が歌ううちに三年前の声に近づいてきたなと感じました。

この日は総勢15名。皆さん終わった頃には、爽やかな笑顔で互いに談笑していました。写真を撮りながら、三年前の平塚教会に戻ってきたなあと感じました。そして、何かしらコロナ禍で、今まで隠れていたものが「今日はお久しぶりです」と、ひよっこりと顔を出して来たような気がいたしました。

### 「教会ニュース」 大人のための音楽教室Ⅰ

9月22日 金子裕美姉の独唱の後、北川一明牧師の解説で「おとなのための音楽教室Ⅰ #5」が始まりました。

北川一明牧師より、ヨハン・セバスチャーン・バッハを中心としたクラシック音楽史概説の説明の後、山本由香子姉によるパッサカリアのオルガン演奏が会堂に響き渡りました。

この音楽会は、アトリエ・フタバが主催した五回の音楽教室の最終回であり、バッ

ハの活躍の時代(1703年～1750年)を辿って、北川一明牧師の分かり易く示唆に富んだ解説、そして要所ごとに山本由香子姉のオルガン演奏と金子裕美姉の独唱を組み込んだものでした。

約一時間の演奏会でしたが、参加された28名の教会員の皆さんにとっては、教会音楽の祖であるバッハの歴史を知るとともに、非常に豊かで充実したひと時を過ごしたのではないのでしょうか。

#### 「二葉幼稚園運動会解答」

その① 年中・年長競技 映画「アラジン」の曲に合わせた踊り

その② 年長親子競技「うちの子、どこだ」紙袋で顔を隠した我子を見つける競技

#### 編集後祈

9月・10月は、浅見和花神学生（東京神学大学神学部四年生）柏明史牧師（茅ヶ崎恵泉教会協力牧師）左近豊牧師（青山学院大学国際政治経済学部教授）と、三名の先生に礼拝説教をご奉仕していただきました。深く感謝申し上げます。

（編集子）